



ヨンクでアソぼう!

ヨンクと楽しむフィールドのすゝめ

パーソナルなスペースを確保でき、仲間や家族と共に遊びに行くための移動手段である4WD・SUV。せつかくの愛車のポテンシャルは、日常だけで使うにはもったいない! そう、相棒とフィールドに繰り出してこそ、4WD・SUVのありがたみが改めて分かる。

室内空間を有効に使える



大型SUVはもちろん、ミドルサイズにおいても4WD・SUVは広い室内空間が確保されている。1列目から2列目まで余裕のある居住性、そしてシートアレンジも多彩で、乗員と積載する荷物の無理なく合わせることができる。ではジムニーなどの軽SUVは? 2人乗車と割り切ってしまうは意外に使えるのだ!

便利なアイテムが勢揃い



スーパースタックやサスペンション、内外装パーツなど、カスタマイズアイテムが大充実する4WD・SUVだが、アウトドアに便利なアイテムも多くリリースされている。例えば車中泊をより快適にするベッドキットや、ウインドーのカタチに合わせた防虫ネットやカーテンなど。やはり4WD・SUVはアウトドアで使ってこそだ。

ラフロードを走れる



オフロード走行に強いこと。これも4WD・SUVたるアドバンテージだ。高い最低地上高と、対地アングルが稼がれたボディワーク、4WDシステムなどにより、自然のもう少し奥までのアプローチを可能にしてくれる。この性能を利用しない手はない! 日常ではない非日常への扉を開けるカギといっても過言ではない!



PHOTO ● 浅井岳男
TEXT ● 編集部

そのものを楽しんだり、もっとクルマを使った「ソトアソビ」を楽しんでみてはどうだろう。

本誌を読んでいるのはヨンクのオーナーさん、あるいはヨンクに興味を持っている方々だろう。ならば、皆さんは、なぜヨンクを愛車に選ぶのか。オフロード4WDとしての走破性? SUVの室内ユーティリティ? それともいろいろカスタマイズが楽しめるから? そう、おそらく理由は1つじゃなく、言ってみれば、そのすべて、だと思っ。そんな風に様々なキャラクターを持っているのが、4WD・SUV最大の魅力なのだ。

だから、ヨンクオーナーになったなら、そのキャラクターを存分に生かしてやりたい! 単なる家族の乗用車や、カスタムベースだけのクルマにしておくのはもったいない。いろいろなシーンで乗って使って頼ってあげてこそ、愛車も喜んでくれるんじゃないだろうか?

そのポテンシャルを存分に引き出す最適な手段は、「アウトドア・トランスポーター」としての使い方ももれない。居住スペースと共に余裕のあるラゲージルームには、大きなアウトドアギアも積載可能。排気量の大きいモデルなら、トレーラーの牽引だってこなすことができる。

そして機動力あふれる走破性は、河原や高原、水辺など、自然のフィールドの、他のクルマでは来られないもう一歩奥までのアプローチを可能にしてくれる。「ソトアソビ」の相棒なのだ。

大人だからこそ本気で「ソトアソビ」をしたい!

あなたにとって「クルマ」とはなんですか? 通勤や通学の手段? 荷物を運ぶための道具? 趣味やレジャーのための移動の足? 中には1人になれる場所というオーナーもいるだろう。ただ、ほとんどは移動のための道具として利用している人が多いだろう。そもそもクルマは移動のためにあるのだから当然なのだが、クルマ



Supported by

JAOS
ジャオス ● <https://www.jaos.co.jp>

WORK
ワーク ● <http://www.work-wheels.co.jp>

LOGOS
LOGOS OUTING EQUIPMENT
ロゴス ● <http://www.logos.ne.jp>

4WDライフを楽しむため 男たちは旅に出た

仕事続きで疲弊し切った時、体の疲れは休めば解消することができ、癒された心を癒すのは案外難しくなかったりする。そんな時こそ、いつもとちょっと違う特別なドライブに出かけるチャンスだ。天気予報をチェックして、夜まで雨マークがなければ決まりだ。まあ多少雨が降っても、全然ノープロブレムだ。

熱々のコーヒーをポットに入れ、キャンプ道具一式とフィッシングギアや軽めの防寒具をスタンバイしよう。家族と一緒に出掛けるのも悪くないが、友人と共に旅立つ方が気持ちがグッと楽になる。昼までにキャンプサイトを設営すれば良いのでまったく急ぐ必要はなかったのだが、やはりはやる気持ちは抑えられなかった。何たって、今日のドライブのお目当ては自然都会を抜け出し、広く澄んだ空の下でゆっくりと過ごす。夏を楽しむ贅沢なキャンプなのだ。眠い目をこすりながらでも早く起きて、まずは普段は走ることのない林道ツーリングという冒険へと出発していく。

キャンプを楽しむだけでなく、ラフロードに分け入って行く相棒として、JAOS仕様のデリカD-5をセレクトしているのには大きな理由がある。ノーマルでもフラットなダートは十分走破できるが、カスタムしているのは他人に自慢するためではなく、愛車のポテンシャルを引き出してあげる

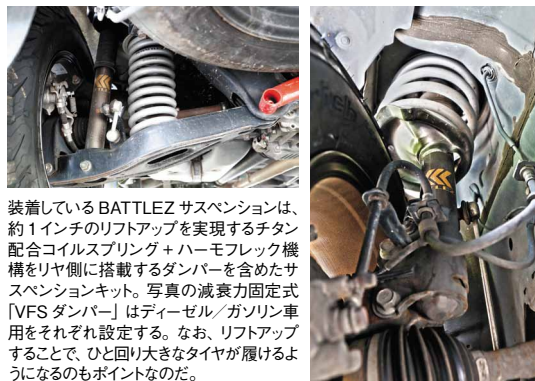


SPECIFICATIONS CRAG T-GRABIC (価格は税別)

SIZE	INSET	P.C.D	HOLE	MGMRCカラー	AHGRCカラー
15x5.0J	45	100	4H	¥27,000	¥27,000
16x5.5J	20	139.7	5H	¥35,000	¥35,000
16x7.0J	38	114.3	5H	¥38,000	¥38,000
17x6.5J	38	139.7	6H	¥42,000	¥42,000
17x7.0J	38	127	5H	¥43,000	¥43,000
17x8.0J	20	139.7	6H	¥45,000	¥45,000

- カラー: マットカーボンカットリム (MGMRC) / アッシュドチタンカットリム (AHGRC)
- 仕様: 鋳造1ピース (JWL & JWL-T, VIA規格適合)
- 付属品: センターキャップ, エアバルブ

※ジムニー用16x5.5Jサイズにはセンターキャップの設定なし。



装着しているBATTLEZサスペンションは、約1インチのリフトアップを実現するチタン配合コイルスプリング+ハーモフレック機構をリヤ側に搭載するダンパーを含めたサスペンションキット。写真の減衰力固定式[VFSダンパー]はディーゼル/ガソリン車用をそれぞれ設定する。なお、リフトアップすることで、ひと回り大きなタイヤが履けるようになるのもポイントなのだ。

JAOS製サスキットやBFグッドリッチ オールテレーン T/A KO2タイヤを履くことで、安定感ある操縦性や角の取れた上質な乗り味を実現されている。もちろんリフトアップしていてもネガティブな要素はなく、乗り味は確保され、しっかりとしたハンドリングが健在。剛性感があるのにショックの吸収性に優れ、突き上げのないフラットな乗り心地が好ましい。



基となる競技ホイールを再現し、歯車型のディスクデザインで構成されるWORK製ホイール「CRAG T-GRABIC (クラッグ ティーグラビック)」。市販化においてもオフロードでも使える十分な強度・剛性を確保。リムエンドを縁取るピードロックリング形状のリムフランジを採用するなどして生み出される類まれなる存在感もまた、大きな特徴だ。

ため、ということに尽きる。4WD・SUV専用のワイルドなボトムにしているのは、日常で気兼ねなく使えて、一歩険しい山道や荒

れた川原に踏み込んだ場合でも、オールラウンダーとして問題なく走れるからだ。そう、自慢の足回りはJAOS

製「BATTLEZサスペンションセットVFS」を装着して約1インチのリフトアップを施し、タイヤはホワイトレターがま

ぶしくオン/オフ両方の性能に定評のある「BFグッドリッチ オールテレーン T/A KO2」をセレクト。もちろんホイールにも

スペシャルなWORK製「CRAG T-GRABIC (クラッグ ティーグラビック)」を選んでいく。世界一過酷なオフロードレーサーBAJA1000において、プロオフロードレーサー「堀 都夫」選手のマシンに装着されていたプロトタイプをもとに、量産型として忠実に再現された力強いデザインとパフォーマンスを特徴とするホイールだ。これらを履いていると、安心感はもちろん気分も圧倒的に高まるというもの。

また、屈強なバンパーやサイドステップ、マッドフラップなどは、万が一のためにボディをガードする役目があることも忘れてはいけない。

高速道路を1時間、ICを降りて一般道を行くと、辺りはすっかり緑に包まれる。思い立ったところで小道を曲がると、身体に伝わる振動が変わった。コトコトとどこか優しい振動は、踏み固められた土の感触。時折カサコンと、草や小枝がボディをかすめるが、気にしないのでただゆっくりと。カスタムすることで引き締められたハンドリングを楽しみながら進むと、目の前に湖が広がった。

ふっと家族の顔がよぎる。今の仕様には装着されていないが、キャリアやラックを搭載すれば、さらにはたくさんのアウトドアギアを運ぶことも可能だ。次は大勢の仲間たちと一緒にキャンプを楽しむのもありかも知れない。

さあ、心を解放してパワーチャージだ。心地良い風を感じながら、素敵な時間を過ごすとするか…。



ヨンクでアソぼう!

ヨンクだから味わえる楽しみ...
本当の意味でのアウトドアを満喫しよう



カッコイイから使うんじゃなく 使えるからカッコイイ!



ヨンク
で
アソ
ぼう!



! JAOS DELICA D:5 with CRAG T-GRABIC



●タイヤ&ホイール	
BF Goodrich オールテレーンT/A K02(LT235/70R16)	オープン
WORK クラッグ T-GRABIC(16×7.0J+38)	¥38,000/本
●サスペンション	
BATTLEZサスペンションセット VFS(ディーゼル車用)	¥127,000/台
>>BATTLEZダンパー-VFS(減衰力固定式ダンパー)	
>>BATTLEZコイル Ti-W(チタン配合約25mmアップコイル)	
●エクステリア	
JAOS フロントスキッドバー(ブラック/プラスト ※他色設定有)	¥53,000
JAOS ヘッドライトガーニッシュ	¥16,000
JAOS ウィンカーキット	¥20,000
JAOS オーバーフェンダー type X	¥66,000
JAOS ブラックサイドステップ	¥68,000
JAOS リヤスキッドバー(ブラック/プラスト ※他色設定有)	各¥53,000
JAOS ルーフスポイラー	¥48,000
JAOS マッドガードⅢ(フロントセット)&(リヤセット)	各¥15,000
JAOS リヤラダーⅡ(ハンドレール付)	¥54,000
●スーパップ	
BATTLEZエアクリナー(ディーゼル車用)	¥8,800
BATTLEZアルカーボンタワーバー フロント	¥24,000
BATTLEZリヤリアアームバー	¥14,000
BATTLEZブレーキパッド typeM Ⅱ(フロントセット)&(リヤセット)	各¥19,000
BATTLEZマフラー ZS-2(ディーゼル車用)	¥84,000
※主な装着パーツを抜粋掲載。価格はすべて税別。	



前ページでも触れた通り、今回の撮影に使用した車両は4WD・SUV 総合カスタムパーツメーカー「JAOS(ジャオス)」仕様のデリカ D:5。オリジナルのサスペンションキットのほか、バンパーを障害物から保護する役目を担うガードパイプ形状のスキッドバーがたくましさを増幅(同コンセプトのリヤスキッドバーも装着)。さらにサイドステップもパイプ形状でまとめている。カスタムの第一歩目としては、デリカ D:5 専用設計でボディにジャストフィット、泥ハネからボディを効果的に防ぐと共に、リアビューにワイルドなイメージを追加するマッドガードⅢがオススメ。現在、JAOSプロデュースのD:5はすでに完成型にあると言っても良いが、2016年末、高い人気を誇るリヤラダーにブラックモデルを追加するなど、進化はとどまらず!

新しい世界を開くカギは
すでに手の中にあった

...そんなわけで、アウトドアと無縁の生活をしてきたオナーナが突然キャンピングやフィールドスポーツに目覚めたり、逆にウインタースポーツやアウトドアが好きだから、4WD・SUVをチョイスしたら、一層その魅力にハマってしまった、なんてのはよく聞く話だ。やはり、4WD・SUVは単なる移動の手段ではない! 日常から非日常へアクセスするための頼れる相棒であり、自己主張のファッションであり、さらにライフスタイルを変えてしまいうくらい大きな存在なのだ。

アウトドアといえば、やっぱりキャンプ。河原や山奥の大自然の中で行なうのが非日常感たっぷり良いが、家族や彼女、仲間たちと気軽に楽しむならキャンプ場に行くって手段でもアリ。一から十まで揃った近代的な施設もあるが、中には大自然ほとんどそのままのたいな場所も探せばあったりする。また、キャンプに行くほどの時間や都合が許されないなら、宿泊しないでも楽しめるデイ・キャンプやBBQもオススメだ。

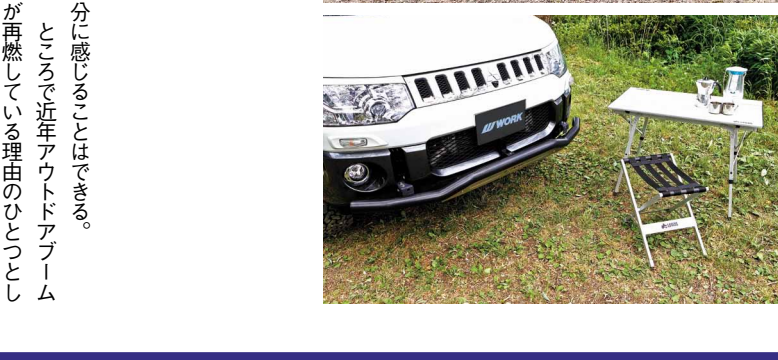
さらに、一歩先を行く達人になるなら、「ヨンク×アウトドア」というテーマにふさわしい、今回の旅のような林道ツーリング&キャンプに出掛けるのがベスト。スノーリアタックに次いで、林道ツーリングはもっともイメージなオフロードランの機会だが、普段は感じられない愛車のポテンシャルを十

分に感じることはできる。
ところで近年アウトドアブームが再燃している理由のひとつとして、アウトドアで使うギアが誇る溢れんばかりの、機能美。がユーザーに受けているということが挙げられる。もちろん今回撮影で使用した「LOGOS(ロゴス)」製品もキャンプ用品からウェアまで、性能と見た目を両立するヨンクのように、満足度の高いアイテムを幅広くラインアップする。またそれらは意外にも手頃な価格で手に入ることが嬉しい。

クルマも自分も、その周りもカッコ良くありたい!と思うのって当然だ。そして、飾って終わらせるのではなく、もう一歩踏み込んでしっかり使ってあげると世界は広がっていく。そう、ヨンクを使った楽しみはまだまだたくさんあるのだ。



この旅では、河口湖の湖畔にキャンプサイトを設営してからはゆったりと何もしない時間を過ごして楽しんだ。キャンプ料理やBBQにこだわらなくても良い。また、道具はあればあるだけ重宝するが、まずは気軽にキャンプや林道ツーリングに出かけてみよう! JAOSのデリカD:5カスタムプログラムと共に、今回使用したLOGOSギアを、参考までに以下にご紹介しよう。



- neos ベーシックドーム・PLR WXL ●neos ドーム FIT ヘキサ 4443-N
- オートレック ベンチテーブルセット4(ストライプ) ●PVC ボンチョ(ブルー)
- デザイン・プリメイヤーマグ(カモフラ) ●デザイン・プリメイヤーマグ(ドット)
- エスプレッソメーカー & 2マグセット ●Smart80 ストリームオープン BBQ L
- デザイングリップキャリアバッグ L(ピンストライプ) ●ライトニングパワーランタン ●(LOGOS バイオフレイム) テーブル暖炉 ●システムランタンボール-AF
- smart LOGOS kitchen. クックテーブル(風防付き) ●フラットクーラースタンド ●アクションクーラー-25(グリーン)

